

# えがお



松本市立病院

広報誌 2020 春



表紙写真（宮の原水芭蕉）

- 病院事業管理者就任のご挨拶 ● 病院長就任のご挨拶
- 医療ミニ知識 生活習慣病を予防しよう！
- 部署紹介 腎透析センター

美しく生きる。



健康寿命延伸都市・松本



笑顔あふれる優しい病院

松本市立病院の理念

地域の皆様から信頼され、全職員が患者さんとともに歩み、  
患者さん中心の「満足と安心」・「権利と安全」に  
配慮した医療を実践します。



松本市立病院

## 病院事業管理者就任のご挨拶

松本市病院事業管理者  
北野 喜良



日頃のご高配に感謝申し上げます。

この度、令和2年3月1日付けで松本市の病院事業管理者に就任しましたので、ご挨拶申し上げます。今後、松本市立病院と四賀の里クリニックを含む病院事業全体を管理することとなりましたのでよろしくお願い申し上げます。

さて、当松本市立病院は経営改革や新病院建設計画など多くの課題を抱えています。平成30年8月、菅谷市長は、松本市立病院が平成26年度から実質赤字に陥っていることもあり、経営改善のために病院事業管理者を設置する意向を明らかにしました。病院事業管理者は常勤特別職で予算原案の作成や契約、職員人事にも権限が与えられています。旧波田町時代の平成17年4月から21年3月まで病院事業管理者は置かれていましたが、その後は市の条例で置かないものと定められていました。

令和元年12月、松本市は市議会に条例改正案を提出し、病院事業管理者を配置することにしました。令和2年2月7日に菅谷市長の記者会見がなされ、北野を病院事業管理者に選任することが発表されました。私は信州大学医学部助教授、国立病院機構まつもと医療センターの副院長、院長等を歴任し、同センターの経営改善を行うとともに、松本病院と中信松本病院の統合、病院建設を実現してきました。そうした実績が評価され選任されたものと理解しています。一昨年10月に特命参与として当院に赴任されました諏訪赤十字病院名誉院長である小口壽夫先生のご指導により、当院の経営状況は飛躍的に改善しました。

時を同じくして、3月1日付けで中村雅彦副院長が院長に就任致しました。また、4月に病院局長に替わる事務部長に倉科勝美氏が就任し、事務部門も強化されます。こうした「新しい松本市立病院の経営体制」で病院改革に取り組み、医療の質と経営の質を高め、地域に密着した「新病院の建設」を実現させたいと思います。

私は平成28年10月から29年6月まで当院の建設検討委員、平成30年12月からは経営評価委員を務めてきました。当院の状況は良く理解しているのではないかと思います。一方で、自治体病院の運営の難しさ、厳しさも認識しています。今までの経験と知識を生かして経営改革に取り組み、地域の皆さまのみならず全職員の念願である「新病院の建設」を早期に実現したいと思います。併せて医療サービス向上等のソフト面の充実も図って参ります。そして、山間部を含む松本市西部地域の皆さまに、安心・安全でより質の高い医療を提供できるように病院変革を進めていきたいと思っています。今まで以上に地域の皆さまに親しみのある愛される病院となり、健康を含めた医療文化を形成することで、この地域の発展にも貢献したいと思います。日本は人口減少・少子高齢化社会への加速度的進展によって疾病構造も変化しつつあり、さらに地球温暖化による環境変化と大規模災害の頻繁化が私たちの生活に影響を与えるようになって来ました。こうした社会・環境の変化にも順応できる病院づくりができればと思っています。

ところで、今、当院にとって当面の最も重要な課題は、多くの皆さまが不安に感じているように、感染症指定医療機関としての「新型コロナウイルス感染症」対応ではないでしょうか。WHOからパンデミック宣言が出るなどなかなか手ごわい相手で、感染症のピークがいつ頃になるかの予測も難しく、かつて経験したことのないほどの経済的な打撃も出ています。当院は松本医療圏（松本市、塩尻市、安曇野市、山形村、朝日村、麻績村、筑北村、生坂村）の感染症指定医療機関として、院内感染対策を十分に行い、その役割・使命を果たして参ります。引き続きこの地域の医療機関と協力・連携して感染症の制圧・治療に取り組んでいきたいと思っています。私は血液内科医ですが、国立病院機構まつもと医療センターでインфекション・コントロール・ドクター（ICD）として、インフルエンザの院内感染症対策・対応に取り組んできた経験も生かせればと思っています。この感染症のことで、地域の皆様にご迷惑やご不便をかけることは絶対に避けたいと考えております。病院玄関から診察室、検査室、病室、そして訪問看護まで万全を期して感染対策を行っていますので、安心して受診していただければと思います。診療所の先生方におかれましては、今まで同様に迅速かつ丁寧に対応させていただきますので、いつでも患者さんをご紹介いただければと思います。

病院事業管理者として、今までの経験と知識を生かして経営改革に取り組み、「新病院の建設」を早期に実現するとともに、松本市立病院及び四賀の里クリニックが今まで以上に地域の皆さまに支持され、愛される医療機関となるよう最善を尽くしてまいります。松本市西部地域の皆さま、松本市ならびに隣接する市町村の皆さま、医療関係者の皆さまのご支援、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



## 病院長就任のご挨拶



院長 中村 雅彦

現在、新型コロナウイルス感染症は流行期に入り、感染拡大予防・重症化防止に向けて極めて重要な局面にあります。当院は松本広域医療圏唯一の感染症指定病院として、全職員一丸となって対策にあたっております。疑似症や不幸にも罹患してしまった患者さんも一般患者さんと同様に、プライバシーが守られた環境で、最善の医療が受けられる様に、職員は昼夜を問わず奮闘しております。

一方で、全国的にも治療にあたる医師や看護師、ならびにその家族に対して「汚い」「近づくな」など、謂われのない誹謗中傷がなされているとの報道を耳にするたびに残念でなりません。当院でも職員は、毎日、緊張の糸が張り詰め、重なる疲労の中で診療業務に当たっております。院内感染対策には、考え得る万全の対策をとっております。皆様には是非、現状をご理解いただき、ご支援の程よろしくお願いたします。

さて、私こと3月1日付けで病院長を拝命いたしました。まず、簡単に自己紹介をさせていただきます。下諏訪町出身で、諏訪清陵高校から自治医科大学を卒業し、同大付属病院での2年間の初期研修の後、昭和61年に当時の波田総合病院に外科医として赴任しました。その後、3年間ほど脳神経外科の専門研修のため波田を離れましたが、30年以上にわたって当院に勤務しております。平成8年に脳神経外科を開設し、平成17年に診療部長、20年に副院長に就任しております。

当院は昭和23年に村立の無床診療所として設立されました。その後、有床化により48年には81床の町立波田病院に改称、60年には150床の波田総合病院として現在の地に移転しました。平成9年にはいち早く第三者による病院機能の評価を受け、県内で最初(全国でも8番目)に日本医療機能評価機構の認定病院に指定されました。また、オーダリングシステムや電子カルテの導入による医療のIT化を積極的に進めるなど、他院に先駆けた取り組みを数多く行い、地域住民のニーズに応える形でベッド数も増え、現在の27診療科を有する総合病院になった歴史があります。根底には患者さんに寄り添い、当院の理念にも掲げる「満足と安心」「権利と安全」に配慮した医療を、広く患者さんに提供したいという、全職員の思いがありました。

近年では、急性期医療に傾倒しがちであった運営方針を見直し、原点に戻るべく、急性期、回復期、慢性期の各病床がバランス良く機能する体制に再編しました。現在、急性期113床、回復期82床、慢性期4床の計199床となっております。特に回復期は、身体機能の改善を目的とした回復期リハビリテーション病棟(33床)と、在宅支援や退院後のサービス調整を進める地域包括ケア病棟(49床)の2つがあります。急性期治療後も安心して療養が継続でき、社会復帰、在宅療養を目指す体制が整いました。少子高齢化が進む中で、治す(急性期)医療から、支える(回復期、慢性期)医療まで、切れ目のない「治し支える医療」を患者さんに提供できるよう、地域密着型の病院として、今後も近隣の医療機関や介護福祉施設との連携をさらに強化していきたいと考えています。

具体的に国が進める医療計画(5疾患、5事業および在宅医療)に沿って、当院の現状を見てみたいと思います。5疾患のうち精神疾患を除く、がん、脳卒中、心筋梗塞、糖尿病については診療実績も十分あり、今後も近隣医療機関と連携をとりながら、さらなる充実を図りたいと思います。特に当院には人工透析内科もあり、慢性腎臓病(CKD)予防のため、糖尿病内科との共同診療が期待できます。5事業では、長年、松本広域圏の2次救急告示病院として救急医療を担い、小児科、産婦人科の常勤医師がいる公立病院として、周産期医療にも関わってきました。当院は市街地から離れた中山間地にあり、後方には岐阜との県境にいくつかの診療所が点在します。今後は、へき地医療、在宅医療支援にも力を入れ、特色ある病院作りを目指したいと思います。また、職員が広く地域に出て、住民の健康保持・増進を目的としたヘルスプロモーション事業を、松本市や関連企業とも提携し重点施策として進めていきたいと考えています。

平成30年から中断されている新病院の移転新築問題ですが、現在、経営改善に向けて注力しております。平成29年に策定した新公立病院改革プランを見直し、平成30年後半からは病床数、病床機能の適正化を進めました。また、病院組織の改編ならびに職員の意識改革を進めた結果、診療単価の上昇とともに、病床利用率も急回復し、半期ベースで見ると2期連続で黒字となりました。現在も改善基調は続いており、令和元年度は通期でも黒字の見通しです。引き続き、累積赤字の削減に努めて参ります。多くの市民の皆様にご理解いただき、新病院建設計画が再開されることを願っております。

私の趣味はランニングで、年に2回フルマラソン、3回のハーフマラソンを目指しています。梓川から常念岳に向かう十ヶ堰沿いが、練習コースで四季の変化を楽しんでいます。若い頃は、42.195kmのゴールタイムをまず決めて、5km毎にある給水所の8で割ってペース配分を決めていました。最近では、事前にコースの高低差を調べて、5km毎にタイムを設定、8ヶ所を足し算してゴールタイムを計算するようになりました。旅行に出かける前の支度と一緒に。一年ごとの積み重ね(年輪)を大切に業務に当たっていきたくと思います。今後ともご指導・ご支援の程、よろしくお願いたします。

# 医療三二知識

## 生活習慣病を予防しよう！

### ▽生活習慣病とは？

生活習慣病は、かつて「成人病」と呼ばれ、働き盛りの人々に発症しやすい病気を指していました。昭和の高度成長期の日本人の死因第1位は脳血管疾患で、その頃成人病の対策には早期発見、早期治療が重要とされていました。平成8年当時の厚生省（現厚生労働省）は、成人病は生活習慣の改善で抑えられる疾患との考えから、「生活習慣病」とその名を改め現在に至っています。生活習慣病の定義は、「食習慣、運動習慣、休養、飲酒、喫煙等の生活習慣がその発症・進行に關与する症候群」であり、高血圧、糖尿病、脂質異常症を始め、脳出血、脳梗塞、虚血性心疾患、慢性閉塞性肺疾患、高尿酸血症、歯周病、癌、アルコール性肝炎、メタボリックシンドロームなど、様々な病気が含まれています。

### 生活習慣病の定義

一般社団法人  
**JPALD** 日本生活習慣病予防協会  
Japan Preventive Association of Life-style related Disease

食習慣、運動習慣、休養、飲酒、喫煙等の生活習慣がその発症・進行に關与する症候群

- 脳出血
- 脳梗塞
- 高血圧症
- 虚血性心疾患
- 慢性閉塞性肺疾患
- 糖尿病
- 高尿酸血症
- 脂質異常症
- 歯周病
- 癌
- アルコール性肝炎
- メタボリックシンドローム

### ▽生活習慣病の問題点は？

生活習慣病の代表格が高血圧、糖尿病、脂質異常症の3つです。これらは大変頻度の高い病気で、高血圧は約4,300万人、糖尿病とその予備軍はそれぞれ約1,000万人と言われています。これらの病気の問題点は、(1) 自覚症状がほとんどないこと、(2) ほっておくと様々な合併症の危険性が高まること、(3) いくつも重なりやすいことです。生活習慣病には、生まれつきの体質が関係しますが、日々の生活習慣もまた病気の発症、進行に直結するのです。

### 生活習慣病は「遺伝」するの？

・肥満・塩分過多・運動不足  
 ・喫煙・飲酒・ストレス

生活習慣病

遺伝

生まれつきの体質

生活習慣病は遺伝しますが生活習慣の改善により発症を抑えることができます

### 頻度の高い生活習慣病 高血圧・糖尿病・脂質異常症

合併症をまねきやすい

気付にくい

いくつも重なりやすい

自覚症状がほとんど無い

ほっておくと、さまざまな合併症の危険性が高まる

特に軽いものが重なると見過ごされがち

### 糖尿病発症の予防のために

- 腹八分目に食べて：  
脂肪をひかえめ  
多様な食品をバランスよく
- もっと歩いて：  
1日10分間多く  
男性9,200歩、女性8,300歩以上を目標に
- 肥満を減らそう：  
自分の適正体重を知りましょう

## 生活習慣病を予防しよう！

### ▽より良い生活習慣とは？

生活習慣病は、日常の食事、運動不足、ストレス、喫煙、飲酒が強く関係しています。また肥満もその原因になります。最近では元気な100歳が珍しくないですが、元々の長寿遺伝子に加え、良い生活習慣を保たれているのでしょう。では、生活習慣病を予防するためのより良い生活習慣とは？ 一般的に、一無（無煙）、二少（少食、少酒）、三多（多動、多休、多接）と言われています。世界一の健康長寿を目指す長野県には、高齢者就業率、野菜やきのこの摂取量が日本一など誇れる生活習慣が数々あり、また県は健康のためのACEプロジェクト（体を動かす、健診を受ける、健康に食べる）を進めています。健康な信州人を目指して、日々の生活をより良く過ごしましょう。



内科 佐藤 吉彦

### よりよい生活習慣

一無、二少、三多

無煙  
ニコチン タール  
「喫煙は百害あって一利なし」  
一酸化炭素

多動  
多休

少食  
少酒

多接

腹八分、減塩

日本生活習慣病予防協会HPより

### 改善したい5大生活習慣とは？

過食・塩分過多  
飲酒  
運動不足  
喫煙  
ストレス

## 長野県が日本一

高齢者就業率

農家の戸数

野菜摂取量

きのこ摂取量

ボランティア参加者

公民館数



食事

生きがい

運動



# 部署 紹介

## 腎透析センター

当院の腎透析センターは西部医療圏での急性期から慢性期の腎臓病・透析診療の役割を担う中で、多種職連携でのチーム医療を目指すことを目標にしています。

2004年以降は現在の37台の透析装置で維持血液透析80-90人を管理する他に、現在4人の在宅腹膜透析治療を行っています。臨床工学技師の協力のもとで患者ニーズに見合った透析治療を随時見直しし、透析困難症などの合併症にも対応できるように2013年からは厳格な水質管理が求められる血液濾過透析を導入しています。2016年からは中信地区では当院のみである在宅血液透析にも取り組み、以来3人が恩恵を受けて質の高い生活を維持できています。在宅と施設両面の透析治療は個々のライフスタイルに合った魅力ある個別治療といえますが、安全・安心・安楽な透析治療の提供には多職種連携が不可欠です。

慢性腎臓病対策についてもセンター内の認定看護師と共に外来連携することで、慢性腎臓病患者の情報共有に役立ち、自己管理や予後改善にも繋がっています。更に糖尿病外来と連携することで、現在、国や松本市が勧めている糖尿病性腎症重症化予防プログラム実践拠点にも

なっております。腎臓病や糖尿病診療の連携は多くの生活習慣病の重症化予防とともに、健康寿命延伸にも関わる地域予防活動にもつながることが期待されます。

高齢化に伴い増加している慢性腎臓病患者さんは合併症や介護負担も多く、看護のみならず栄養や運動面の課題も含めて多方面からの医療・看護支援が必要です。栄養科やリハビリとの部門協力も進めていく中で、これら院内連携で培った輪が地域包括支援活動にも繋がっていくことが期待されます。センターのスタッフ共々、これからも多くの活動が発信できるように日々研鑽しておりますので今後とも宜しく御指導・御協力のほどお願いします。

腎透析センター 赤穂 伸二  
看護師長 木村 順子  
臨床工学技士長 安部 隆宏



## 退任のご挨拶

高木 洋行

### 私儀

この二月末日を持って、院長職を辞し松本市立病院常勤勤務を終えました。長いあいだ大変お世話になりました。ありがとうございました。

昭和60年6月に着任以来、途中2年弱の研修期間を除き、およそ33年間勤めあげることができました。着任した頃は、医師が総勢10人という小さい病院でした。それでも若いころは先輩や同僚に恵まれて、外科医として多くの経験を積むことができました。当時の院長栗岩先生が、「高木を取れ」とおっしゃってくださり、この病院に着任できたことをのちに聞きました。とても嬉しく感じたことを覚えています。そのためか、病院にも地域にも役立つ医者になりたいと強く感じるようになりました。同時に、この病院で働いていることが誇れるような、若い人たちがたくさん集まるような病院になれば良いなと願い、頑張ってきました。

外科医としては、日本標準の診療をすべく、研鑽を重ね、優秀な後輩たちにも恵まれ、多くの患者さんと哀楽を共にしてきました。忘れられない患者さんは沢山いて、皆様のおかげで今の自分があると思っています。

平成23年1月1日付で院長を拝命しました。その直後、3月11日、東北大震災が発災しました。我々は6人でチームを作り、交代で石巻の支援に当たりました。全部で7チームを当院から派遣しましたが、長野県で最も多かったようです。職員みんなの頑張りに改めて感謝です。

院長時代に制定したキャッチコピー「笑顔あふれる優しい病院」は特に気に入っています。通常病院というと、悲しみや辛さなどのマイナスなイメージが付きまといまいます。だからこそ笑顔の力でそれを払拭したいと思います。優しさと言えば思い付く、大好きな言葉があります。Raymond Chandler著のハードボイルド小説に出てくる台詞ですが、「人は強くなければ生きていけない、しかし優しくなければ生きていく価値がない」です。病院にも優しさと強さの絶妙なバランスが求められていると思います。

今後は、非常勤職員としてほぼ今まで通り勤務します。乳腺外科の診療が主になりますが、僻地医療支援や地域包括ケアに関わることもお手伝いしたいと思います。長いあいだありがとうございました。

## 「エビトマトクリームパスタ」



### ★材料★ (1人前)

- ・スパゲティ茹で 200g
- ・むきエビ 80g
- ・玉ねぎ 50g
- ・オリーブオイル 少々
- ・マッシュルーム 30g
- ・パセリ 少々
- ・トマト缶(無塩) 80~100g
- ・コンソメ 2g
- ・牛乳 30g
- ・生クリーム 20g
- ・塩こしょう 少々

### ★作り方★

- ①スパゲッティを茹でる
- ②むきエビは軽く茹でる。玉ねぎをオリーブオイルで炒め、色が変わったらエビを加えさらに炒める。
- ③トマト缶にコンソメを加え煮詰める。②のエビ、玉ねぎを加え、生クリーム、牛乳をさらに加え混ぜる。塩こしょうで調える(ソースの完成)
- ④茹で上がったパスタとトマトソースを絡め完成

### ★ポイント★

※具材は家庭で好きなものを加えてみて下さい。しめじなどキノコ類を加えてみても良いですよ。生のトマトを大きくダイス上にカットして使用すると酸味も加わり違った風味になるかと思ひます。アスパラを加えると緑が映えます。エビのほかにイカやホタテなどの海鮮を加えても美味しいかも。無塩コンソメ、低脂肪牛乳の使用で減塩やエネルギーを抑えることもできます。

松本市立病院 診療医師一覧表

令和2年4月1日時点

診療科	受付時間		診察開始時間	月	火	水	木	金	
救急・総合診療科(初診)	午前	8:15~11:30	8:30	小澤 正敬(8:30~) 黒河内 颯(8:30~) 佐藤 吉彦 林 元則 白鳥 颯人	小澤 正敬(8:30~) 三澤 俊一(8:30~) 奥村 美智 守安 諒	高木 洋行(8:30~) (第1・3) 桐井 靖(8:30~) (第2・4・5) 上條 泰(信) 林 元則 平野 真理	小澤 正敬(8:30~) 西川 真里奈 大和 理務 濱野 雄二郎(信大) 小松 慶之	小澤 正敬(8:30~) 深井 晴成(8:30~) 奥村 美智 林 元則	
	午後	13:30~17:00 (救急の場合を除く。)	13:30	小澤 正敬 桐井 靖 奥村 美智	深井 晴成 林 元則 桐井 靖 守安 諒	三澤 俊一 西川 真里奈 上條 泰(信)	小澤 正敬 林 元則(第1・3・5) 赤穂 伸二(第2・4)	黒河内 颯 桐井 靖(15:00~) 内科医師(交代制)	
消化器担当				黒河内 颯	三澤 俊一	桐井 靖	大和 理務	平野 真理	
内科専門外来(予約制)	午前	8:15~11:30	8:45	消化器科	米田 傑	平野 真理 林 元則	伊東 哲宏	米田 傑	伊東 哲宏
				循環器科	澤木 章二	金井 将史	澤木 章二 岡野 孝弘	門田 真	澤木 章二
				腎臓科		赤穂 伸二 西川 真里奈	赤穂 伸二		
				糖尿・内分泌科	中村 純子		佐藤 吉彦	大久保 洋輔	佐藤 吉彦
				呼吸器科	赤羽 順平			町田 良亮	
				血液内科	川上 徹				
				肝臓内科					若林 俊一
	午後	予約のみ			澤木 章二	赤穂 伸二 佐藤 吉彦	澤木 章二 赤穂 大和 大和 理務	黒坂 真矢 奥村 美智	澤木 章二 佐藤 吉彦
外科	午前	8:15~11:30	8:45	一般	[三澤 俊一 桐井 靖 (11:00~)]	[深井 晴成 (11:00~) 桐井 靖 高木 洋行]	[深井 晴成 黒河内 颯 (第4以外) (11:00~) (予約のみ) 守安 諒 (~11:00)]	[高木 洋行(~10:00) 外科医師(10:00~) (予約のみ) 手術日]	[三澤 俊一 (11:00~) 黒河内 颯 高木 洋行]
				特殊	乳腺外来 (高木 洋行)				
午後	13:30~16:00	14:00	特殊		乳腺外来 (高木 洋行)		健診のみ (高木 洋行)	乳腺外来 (高木 洋行)	
形成外科	午後	12:30~14:00 ※2019/8/1より	13:00 ~15:00	一般		信大医師			
整形外科	午前	8:15~11:00	8:45	一般	信大医師 林 幸治 清水 政幸	手術日	松江 練造 林 幸治 竹山 和昭	松江 練造 信大医師 清水 政幸	松江 練造 林 幸治 清水 政幸
	午後	予約のみ						清水 政幸	
小児科	午前	8:15~11:30	8:45	一般	中田 節子 嶋田 俊	津野 隆久 嶋田 俊	中田 節子 津野 隆久	交(中田 節子 津野 隆久 嶋田 俊) 替	中田 節子 津野 隆久
	午後	13:30~ 16:00 予約のみ	14:00	特殊 (予約)	慢性疾患 (嶋田 俊) 慢性疾患 (岸川 ゆかり) (第4)7・8カ月検診	1ヶ月検診 乳児検診	予防接種	予防接種 (第1・2) 慢性疾患(第3・第4) (岸川 ゆかり)	慢性疾患 (中田 節子) 慢性疾患 (津野 隆久)
産科(予約制)	午前	8:15~11:30	8:30	一般	交代	斉藤 慶弘	交代	田村 充利	小原 美幸
	午後	13:00~15:00	13:30		横井 由里子	小松 登	塩沢 功	田村 充利	小原 美幸
婦人科(予約制)	午前	8:15~11:30	8:30	一般	手術	小松 登	手術	市町村健診 斉藤 慶弘	塩沢 功
	午後	13:00~15:00	13:30		田村 充利 市町村健診	小原 美幸	横井 由里子 市町村健診	斉藤 慶弘	塩沢 功
脳神経外科	午前	8:15~11:30	8:45	一般		中村 雅彦	中村 雅彦 もの忘れ外来		中村 雅彦 (受付11:00まで)
	午後	13:45~16:00 予約のみ							
眼科	午前	8:15~11:00	9:00	一般	信大医師	視野検査(第2のみ)			信大医師 視野検査
耳鼻咽喉科	午後	13:30~16:00	14:00	一般		信大医師			信大医師
泌尿器科	午前	8:15~11:00	8:45	一般	飯塚 啓二	石川 雅邦	飯塚 啓二	石川 雅邦	石川 雅邦
	午後	予約のみ			石川 雅邦 (予約のみ)	石川 雅邦 (予約のみ)	手術	石川 雅邦	検査
皮膚科	午前	8:15~11:30	9:00	一般	信大医師		信大医師		
歯科口腔外科	午後	特殊外来(予約のみ)					信大医師		